

## 歯周病原菌とは

歯周病は細菌感染症であり、これまでに多くの歯周病の発症に関与する細菌、いわゆる“歯周病原菌”が数多く同定されています（表）。このような歯周病原菌のもつ病原性因子と宿主の免疫力の相互作用の結果、歯肉や歯周組織に炎症が起こり、歯を支えている骨である歯槽骨の吸収をおこし歯の動揺を引き起こします。現在までに報告されている主な歯周病原菌はグラム陰性桿菌であり多くは酸素がない状態で増殖をする偏性嫌気性菌と呼ばれる細菌です。これまでの病原性因子の研究ではグラム陰性菌固有の構造物であり内毒素として知られるリポ多糖、毒素や酵素などの研究が多くなされてきています。

## 歯周病原菌のRed Complex

